

# ブック村だより

- 図書館新システム稼働! ..... (1)  
Using the Library
- 図書館へ行ってみよう! 《入門編 2階》 ..... (2)
- 本との関わりを振り返って ..... 三好 和代 (3)
- 本学コレクション紹介 (37)
- リスト『作品集』⑤ ..... 森岡 邦泰 (5)
- ぶっくす・なう ..... (6)
  - 『奇跡の地図を作った男 — カナダの測量探検家デイヴィッド・トンプソン —』 谷岡 一郎
  - 『Day to Day (デイ・トゥ・デイ)』 初谷 勇
  - 『毎日読みたい 365日の広告コピー』 下山 晃
  - 『フォン・ノイマンの哲学 — 人間のフリをした悪魔 —』 河辺 純
- 2021年度前期 Library Student Staff (図書館学生スタッフ) 活動紹介 ..... (8)
- 2021年度前期 図書館委員会報告

## 図書館新システム稼働!

2021年9月、約7年ぶりに図書館システムを更新し、蔵書検索OPACをリニューアルしました。トップページ等のデザインが新しくなったほか、画面のサイズによって表示が変わるレスポンスWebデザインになりました。

今回の更新ではクラウド型の図書館システムを導入し、学園設置校である神戸芸術工科大学の蔵書も合わせて約69万冊の検索が可能になりました。簡易検索で調べると、両大学の蔵書が並んで表示されます。もちろん本学の蔵書に限定した検索もできますので、ぜひ使い方が広がったOPACを活用してください。

配架場所に「(芸工大)」とある資料を読みたい場合は、相互利用手続きが必要となりますので、2階カウンターまでご相談ください。

### <新OPAC TOP画面(簡易検索)>



### <新OPAC 検索結果画面>



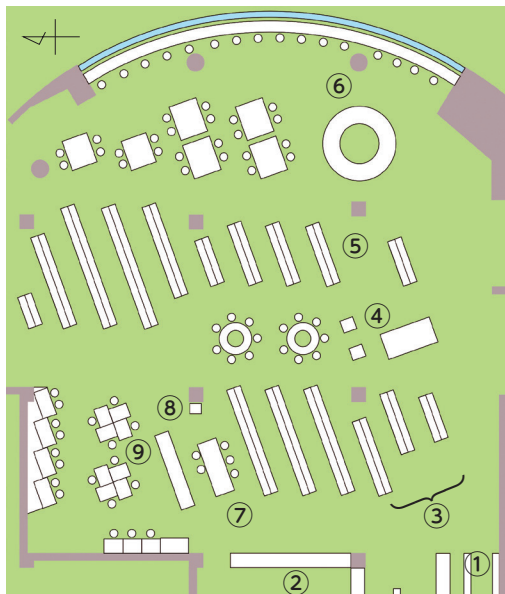
絞込項目の所蔵館の「大阪商業大学」を選択すると、本学のみ所蔵を表示できます。

所在場所が「(芸工大)」の資料は、学園設置校の神戸芸術工科大学が所蔵している資料です。

学生証を  
忘れずに!

図書館は、正門入ってすぐ目の前の6階建ての「U-メディアセンター GATEWAY」の中にあります。

ガラス張りの1階エントランスから階段またはエレベーターで2階の入館ゲートへ、さあ、入ってみましょう!



入館ゲート

「U-メディアセンター GATEWAY」の2階にゲートがあります。

3階は社会科学分野、4階は人文・自然科学分野、5階は洋書と出版年の古い和書、6階はデータ調査や統計・法規などの参考資料が配列され、2階から6階までで約53万冊の図書が並んでいます。まずは2階を完全攻略してみましょう。

入館ゲートを入れて左側にメインカウンターがあり、貸出・返却など各種の手続きを行っています。

2階の書棚は<201>から<211>まであります。定期的テーマを決めて展示する特設コーナーや、新着図書、新聞書評掲載図書のほか、授業関連図書や本学教員図書などのコーナーがあります。

もちろん「ブック村だより」掲載図書のコーナーもありますよ。いろいろ探してみてください。



⑤雑誌コーナー  
和・洋の雑誌が約330タイトル配列されています。館内での閲覧、コピーが可能です(有料)。



⑥ブラウジングコーナー  
ソファを設置し、新聞や雑誌をくつろいで読めるスペースです。  
☆多攻略ポイント：明るく見晴らしのよい東側ガラス張りのカウンター席は、4階にもあるよ。



⑦OPAC (蔵書検索用パソコン)  
図書のタイトル、著者、出版社、内容を表すキーワードなどを入力し、所蔵しているか調べることができます。「配架場所」と「請求記号」を確認すれば、どこにあるかがわかります。検索結果の印刷もできます(無料)。  
☆多攻略ポイント：探していた本が貸出中になっていたら、即予約。返却されたら教えてくれるよ。



⑧コピー機  
コイン式の複写機を設置しています。著作権法に基づき図書や雑誌、新聞の複写ができます。  
複写申込書に記入しメインカウンターに提出してください。



⑨視聴覚 (AV) コーナー  
ブースが設置され、VTR・DVD等を視聴できます。  
利用の際は、学生証をメインカウンターに提出してください。



①入退館ゲート  
在学生は、学生証をゲートを通して入館してください。



②メインカウンター  
図書館の総合案内窓口です。図書、ノートパソコンの貸出・返却手続き、相互利用による文献取り寄せなど、利用についてわからないことは何でも尋ねてください。  
☆多攻略ポイント：読みたい本が図書館になかったら、「リクエストカード」で購入申し込みできるよ(審査あり)。



③企画展示  
<201>  
A列：特設(定期的にさまざまなテーマで集めた図書)  
B列：学生選書  
<202>  
A列：新聞書評掲載図書  
B列：「ブック村だより」掲載図書  
<203>  
A列：Topic Books (文学賞受賞本や映画の原作となった話題の図書)  
B列：新着図書



④新聞コーナー  
全国紙以外に専門紙、外国紙などが閲覧できます。  
☆多攻略ポイント：新聞記事から課題が出ることもあるよ。

# 本との関わりを振り返って

経済学部 経済学科  
特任教授 三好 和代

今回、図書館からブック村だよりへの寄稿を依頼されて、これまでの本との関わり方について、あらためて振り返ってみました。

まず思い浮かぶことは、子どもの頃、両親もよく本を読んでいたことです。小学校では、当時の公立小学校としては充実したきれいな図書室があり、親しみやすい司書の方もいて、いろいろな分野の本に触れて、楽しく過ごすことができました。中学や高校時代も、家にあった岩波新書など、さまざまなジャンルの本を読んで過ごし、大学入学後は、人文、社会、自然科学の各分野の履修科目に関連するような本を読みしました。

しかし、学年が進み、さらに大学院に入学後は、専門分野の経済学関係の本を読むことが中心となり、就職後も仕事以外の本からは、少し遠ざかってしまっていました。

そのような状況が大きく変わったのは、大学に職を得て数年後に、海外（アメリカ）に研修に行く機会が得られた時です。当時は、インターネットが一般に利用されるようになる前であり、海外のニュースや情報も限られていました。

そのため、海外に出ると、新鮮な驚きを感じるが多かったのですが、日本語で情報を得る機会は、当時、アメリカでも非常に限られていました。テレビのニュースなどもよく見たものの聴解力の限界もあって、書物からさまざまな知識を得ることになりました。

たとえばテレビの番組で、Thanksgiving Day（感謝祭）や、Hanukkah（ハヌカー、ユダヤ教の祝祭日）の起源や歴史などが取り上げられても、予備知識がないと十分に理解できません。しかし、幸いなことに書店に行けば、関連するさまざまな本が並べられています。難しい本は読むのに時間もかかるので、子供向けに書かれた本のお世話にもなりました。

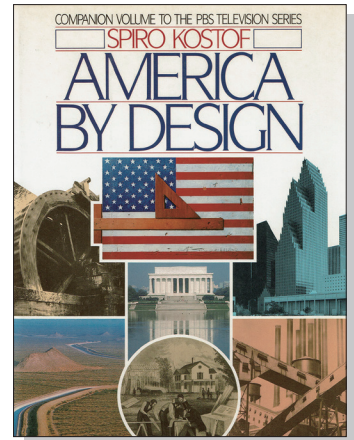
また、日本の教育テレビに相当するPBS (Public

Broadcasting Service) では、質の高い番組を多く放送していましたが、細部まで理解できないことが多いので、放送内容を解説したCompanion volume（放送大学のテキストのようなもの）がある場合は、それもよく読みました。たとえば、第二次大戦の歴史やホロコースト、公民権運動、テレビ放送の歴史、等々、アメリカという国の成り立ちを理解するために、役立った番組や本が多くありました。とくに、『America by Design』では、住まいや仕事の場、街並み、公共空間、国土の利用・管理などについて、デザインという視点からアメリカを考察する興味深いものでした。

当時は、住んでいたアパートの近くに、Borders という大きな書店（日本のジュンク堂や紀伊国屋書店のような書店、残念ながら2011年に経営

破綻）があり、立ち読みならぬ座り読みもOKだったので、週末には、さまざまなジャンルの本を手にとって、何時間も過ごすこともありました。

その中で印象に残っている本は、M. Scott Peck 医師による『The Road Less Traveled』という本です（1978年、Simon and Schuster, Inc. New York刊）。この本は、ニューヨーク・タイムズのBook Reviewで、長期にわたってランキング上位にあったロングセラーであり、日本語訳『愛と心理療法』は、図書館にも入っています。アメリカでは、心理学や精神医学の考え方を、生き方のヒ

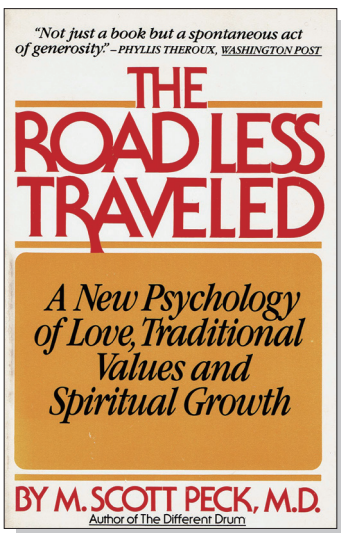


## 『AMERICA BY DESIGN』

SPIRO KOSTOF 著  
(Oxford Univ Pr, 1987年)

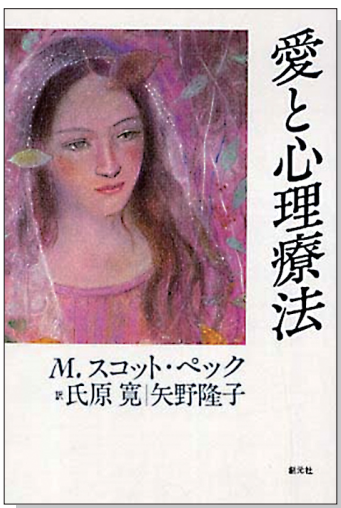
ントとして一般の人に提供するような本や、キリスト教などを背景として生き方を考えようとする本が多く出版されていて、それらの本から教えられることも多かったのですが、Peckのこの本は、Study Guideも出版される古典的ベストセラーでした。

私がとくに感銘を受けたのは、“Escape from Freedom”（自由からの逃走）という章で、研修医時代の著者の経験がつつらわれています。Peckは、自分の仕事が忙しく、長時間労働で家族からも苦情を言われる状況を所長に訴えるのですが、所長はその訴えに耳を傾けず、*“It’s your problem with your time.”*というようなことを繰り返し伝えます。同僚の医師たちは、夕方さっさと帰るのに、まじめに仕事に取り組もうとすると長時間労働になってしまう、と著者は訴えるのですが、所長は、それは、あなたの問題だ、として、自分で考えるように論じます。



### 『THE ROAD LESS TRAVELED』

M. SCOTT PECK 著  
(Simon and Schuster, Inc.  
New York, 1978年)



### 『愛と心理療法』

M. スコット・ペック 著  
(創元社, 1987年)  
請求記号: 146.8/P33  
資料番号: 0442035

現在の日本の状況では、働き方改革が叫ばれ、長時間労働の是正が大きな問題となっています。必要な仕事の範囲の見直しや、サービス残業をなくしていくことなど、全体で取り組むべき課題もたくさんあります。そのような視点からは違和感や異論があるかと思いますが、Peckの場合は、研修医という立場ではあるものの、仕事の仕方について自由度を持っている、つまり、他の同僚のように夕方は早く仕事を切り上げて、さっさと帰宅することもできるし、そうするかどうかは本人次第、という環境にあるものとして述べられています。

最終的に、Peckは、所長の*“It’s your problem with your time.”*という言葉の意味を理解し、家族に苦情を言われたり、早く帰宅する同僚達がいっても、患者に対する献身と自分の訓練のために、長時間労働をいとわないことを、自分自身の意思として選択します。誰かに決めてもらって、責任も持ってもらうほうが楽かもしれないけれども、自分自身が決定する自由を放棄せず、責任を引き受けることの大切さを、自らの経験から、わかりやすい形で示しているものと言えるでしょう。

このように、本との出会いは、自分の生き方に大きな示唆を与えてくれたり、自分がまだよく知らない新たな世界に導き入れてくれたり、人生を豊かに楽しくしてくれるものです。

現在は、ネットで検索したり、SNSなどで必要な情報を簡単に得ることもでき、非常に便利な社会になっています。とくに本を読まなくても、日常生活に支障があることは少ないかもしれませんが、しかし、フェイクニュースなどの問題や、自分が興味のある狭い範囲の情報にしかアクセスしなくなる傾向などが懸念されるほか、より深く考えたり感じたりする機会が少なくなっているように思います。

自由な時間に、図書館や大きな書店などで、書棚をゆっくり見て回ったりすると、大切な新たな発見があるかもしれません。現在はコロナ禍で難しい状況もありますが、人生を豊かにしてくれるような本との出会いの機会を求めていってほしいと思います。

## リスト『著作集』⑤

リストの主著『経済学の国民的体系』は1841年に公刊された。第1編「歴史」、第2編「理論」、第3編「諸学説」、第4編「政策」という構成である。

第1編では、ヨーロッパ主要国の通商の歴史が語られる。そこでのリストの視点は、自由交易と保護主義が国家の隆盛にどう影響を与えるかである。それは、国の発展段階に応じて自由交易と保護主義のどちらかが有利になることもあれば、不利になることもあるというものである。ベネチアの場合、勃興の初期においては、自由交易が有利であったが、その後の一定の段階に達すると、今度は保護主義が有利となった。しかしその後、これにより他国との競争が排除されてしまうと怠惰に陥り、それは不利になったというのである。

もう一つ、リストの視点として、個人の勤勉、発明心、企業心が、市民的自由、公共の制度と法律、行政、対外政策、とりわけ国民の統一と力と相関しているという認識がある。経済は政治と一体なのであり、その意味で本書は経済学の本でもなければ、政治学の本でもなく、政治経済学の本なのである。

第2編を貫くのは、自由交易を主張する主流派経済学に対して保護主義を擁護する立場である。重農主義およびスミス以来の経済学がコスモポリタン（世界市民主義）の経済学であるのに対し、リストは国民的立場に立った（ボリスの形容詞形としてのポリティカル）経済学、すなわち国民経済学を打ち出す。主流派経済学は国際貿易の自由を主張したが、それは永久平和を支える世界連合を前提としてしか成り立たない。

またスミスの富の概念が物質的なものに限られているのに対し、法や秩序の維持、教育や宗教心、

科学や芸術の育成といった精神的労働も生産力に含め、主流派経済学が価値の理論に収束するのに対し、総体的な生産力の理論を提唱する。これまでの発見、発明、改良などを精神的資本と呼ぶ。それは物質的富と精神的富と政治勢力との相互作用をとらえることでもある。

そこで問題となるのが、単なる農業国と農・工業国との相違である。農業しかない国では、専横と隷属、迷信と無知、耕作・交易・輸送手段の欠如、貧困と政治的無力が見られ、人間の能力の一部しか、また自然資源の一部しか利用されていないのに対し、農・工業国では、市民的自由、文明開化、技術と科学、内外の商業、海運、輸送の改良が見られる。つまり産業構造が、政治体制、精神活動にも多大な影響を与えるのである。当然望ましいのは、農・工業国である。もともと世界中どこでも農業国であったわけだから、どのようにしてそこへ到達するかが課題となる。当時、ドイツをはじめとするヨーロッパ諸国が置かれた状況は、圧倒的な工業力を誇るイギリスとどう対峙するかであった。それにはイギリスに対抗できるだけの工業力を養成しなければならない。そこで保護主義が要請される。しかるに従来の経済学はおしなべて自由交易を主張し、基本的に国家の介入に反対してきた。そこでそれに対し、どのように保護主義を擁護するかがリストの課題となる。

（経済学部 准教授 森岡 邦泰）

フリードリッヒ・リスト (1789~1846)

19世紀のドイツの経済学者。主著『経済学の国民的体系』は、1841年に完成された。この『経済学の国民的体系』は当館に所蔵されている『著作集』の中に収められている。

## 『奇跡の地図を作った男』

—カナダの測量探検家デイヴィッド・トンブソン—

下山 晃 著

(大修館書店,2021.8)

請求記号:289.3/Th6  
資料番号:0557458

今回は大阪商業大学が誇る博識家、下山晃先生の著書を紹介します。断わっておきますが、これは仲間が書いたから紹介してあげようというわけではありません。本当に近年にないおもしろい、学術的にも優れた一冊なのです。

主人公の探検家で測量技師のデイヴィッド・トンブソンは、1770年にロンドンに生まれ、のちにカナダ東部を中心に地図を作成した男ですが、手柄を横取りされたりをくり返したこともあって、意外に知られていません。近年やっとその業績が評価されるようになってきたようですが、(そうあってほしいのですが)もしこの本が広く売れたなら、トンブソンの業績は日本でも知られるようになるでしょう。

トンブソンが歩いて測量した距離は約9万キロ、その

範囲はおよそ490万平方キロに及ぶそうですが、これは伊能忠敬が歩いた距離の3倍弱という数字です。作った地図の面積は日本全土の13倍というすごいもので、しかも夏でも凍り付くカナダの天候の中、これを成し遂げたのには驚きますね。

トンブソンのすばらしい点は、業績もさることながら、その性格や生きざまであることが、本書を読めばわかります。まだ人権感覚の薄い時代にあって、ネイティブの人々とも対等につき合い、現地の妻を得てからは、子だくさんで(貧しくとも)仲の良い家庭をずっと持ち続けていたそうです。

実は別の著書を紹介するつもりでしたが、本書を読んで急きょ差し替えました。絶対のおススメ!

(学長 谷岡 一郎)



## 『Day to Day (デイ・トゥ・デイ)』

講談社 編

(講談社,2021.3)

請求記号:913.68/Ko19  
資料番号:0557437

すでに4度目となった緊急事態宣言が、昨春初めて発令されたとき、各界が対応に追われるなか、「好きな物語と出会えるサイト『tree』」編集部では、「作家と出版社にできることは何か、数年たっても、この時のことを忘れずに前に進める企画はないか」と考えたという。

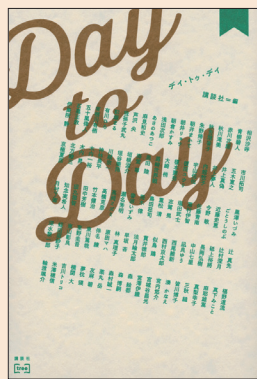
「2020年4月1日以降の日本を舞台に、作家に1日ずつ掌編を書いてもらう」企画が生まれ、4月1日の辻村深月から7月9日東野圭吾まで、100日にわたり100人、名うての小説家がサイトで連載(公開:5月1日~8月8日)。今春、厚さ3cmの本書が誕生した。

ところが、この本、できたいきさつを語る「はしがき」も「あとがき」も無い。目次には、年号なしで、月日の数字と作者の氏名だけが並ぶ。つまり、毎年、春夏

がめぐってくれば、日めくりの万年カレンダーのように、「今日、〇月〇日はこんなこともあったよね」と思いをはせる手がかりとなるはずだった。ところが、今年も続く「避け合いとバラバラ散在の日々」。追想するどころか、自分や隣人の現在の「日々」が依然として作品の中に広がっている。

連載当時のアーカイブは、まだサイトでスワイプして読める。短編より短い掌編ということばになじみは無くても、片手でスマホを駆使する世代なら、掌(手のひら)でお気に入りの1編が見つかるに違いない。もちろん、若竹色の表紙が目にしみるこの本の重さを掌(たなごころ)に感じつつ、100編一気に読むのも面白い。

(図書館長 初谷 勇)



## 『毎日読みたい 365日の広告コピー』

WRITES PUBLISHING 編  
(ライツ社, 2017.12)請求記号:674/W94  
資料番号:0557435  
0540420

「アフォリズム aphorism」という言葉を知っていますか？ アホのままずっと世渡りする、ということではありません。含蓄深く、心にビビンッ！と来る短かな警句・金言・箴言しんげんのことです。

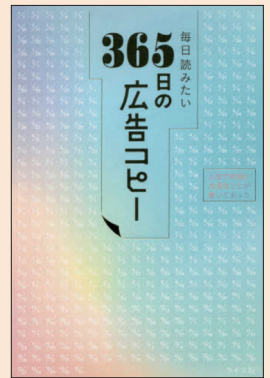
資本主義社会とはこの世のあらゆるモノやコトが営利に連結した商品となり、広告・宣伝が人々の生活の在り方とか時代のトレンドを決定づけていく社会。この本では、2003年から2017年までにいろいろな新商品やポスター、イベントの告知などで使われた広告・宣伝のキャッチコピーが、暦（こよみ）形式のページ構成で、毎日1フレーズずつ紹介されています。

1月1日は「ふだんを変える。／それがいちばん／人生を変える。」1月2日は「夢は、口に出すと強い。」——

どうです？ これだけでももう「読んでみたい!」と思ったでしょ？ 紹介されているキャッチコピーは、いずれも感性豊かなコピーライターやプロの文章家が創意工夫を凝らして生み出したもの。どっかで耳に入れたり目にしたことがあるようなフレーズも多々あります。「文句も知性があれば、提案になる」といった、「あ、なるほど〜」と思えるアフォリズム満載なので、論理的思考や鋭利な洞察力・豊かな感受性の増進にも好適なこと間違いナシ。一生モノのフレーズにもたくさん出会える本です。身近な商品やいつもの生活との結びつきもある簡潔なフレーズなので、偉人の名言集よりずっと親しみやすいでしょう。「ヒトは、／本を読まねば／サルである。」

あ、なるほど〜

(総合経営学部 教授 下山 晃)



## 『フォン・ノイマンの哲学』

—人間のフリをした悪魔—

高橋 昌一郎 著  
(講談社, 2021.2)請求記号:289.3/N67  
資料番号:0554445

ディズニー映画『ファンタジア』という作品に登場する有名な楽曲（交響詩）に、『魔法使いの弟子』（作曲：ポール・デュカス 1865～1935）がある。この曲の背景には、次のような物語がある。ある日魔法使いの弟子が、師匠の外出中に水くみの仕事を命じられる。弟子はこの時魔法を試してみたくなり、〈ほうき〉に呪文をかけて、川から水をくんで運ぶことに成功する。しかし、弟子は魔法を解く呪文をまだ修得していなかったため、家中が洪水になってしまい絶望していると、そこに帰宅した師匠によって魔法が解かれて事なきを得る。本書を読み進めると、この作品が想起される。

20世紀の大天才、ジョン・フォン・ノイマンは、第二次世界大戦の終結において科学者という立場で重要な

役割を担った人物である。彼が存在しなければ、被爆国日本の20世紀の歴史は大きく変わっていただろう。他方、現代の生活に欠かせない、さまざまなコンピュータテクノロジーによる製品もスマホも無かったかもしれない。また、ノイマンが数学やロボットなどの専門研究のみに没頭し、彼と同時代に登場した他の天才（第1章のエルディッシュや第6章に登場するチューリング等）たちとの協働が実現していたならば現代社会は……。

「科学優先主義」・「非人道主義」そしてこの世界には責任や道徳など存在しないという「虚無主義」がノイマンの哲学であったとされるが、この天才魔法使いには何故『魔法使いの弟子』のような「師匠」は存在しなかったのだろうか、それとも21世紀になってようやく現れるのだろうか。

(総合経営学部 教授 河辺 純)



## 2021年度前期 Library Student Staff (図書館学生スタッフ) 活動紹介

Library Student Staff (以下LSS) は、学生の目線で利用したい図書館づくりを目指して2018年7月に発足しました。学生選書ツアー、読書会の実施サポート、LSSによる企画展示、POP作成など、図書館を盛り上げるためにさまざまな企画・提案を行っています。

2021年度は新たに7名(1年生6名、3年生1名)が加わり、現在18名で活動しています。2021年度前期は、①定例ミーティングの実施(毎月2回)、②LSSのTwitterでメンバーが毎週水曜日におすすめ本を紹介、③LSSと古都研究会の合同企画展示「丑年(うしどし)と疫病(コロナ)退散」、④LSS企画展示「選挙・政治について知ろう」を実施、⑤LSSメンバーを対象に読書会(発表者がおすすめ本を紹介し、その内容について皆で楽しく語り合うイベント)をオンライン(Zoom)で開催しました。



▲③「丑年(うしどし)と疫病(コロナ)退散」



▲④「選挙・政治について知ろう」



▲⑤LSS対象「読書会」

## 2021年度前期 図書館委員会報告

### 第1回図書館委員会

2021年5月18日(火)

- 議題：〔審議〕①図書館資料収書方針並びに2021年度選書委員について  
②寄贈図書取り扱いについて  
〔報告〕①2020年度図書館事業 ②同利用状況  
③2021年度事業計画 ④その他(除籍図書の寄贈)

### 第2回図書館委員会(臨時会)

2021年6月28日(月) ※S-Navil上でリモート開催

- 議題：〔審議〕図書館資料収書方針(案)及び2021年度選書委員について  
並びに寄贈図書の取り扱いについて

### 選書委員会議(図書館委員会内)

2021年7月12日(月)

- 議題：①選書の取組状況と検討項目  
②選書委員による選書状況と実績 等

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開館時間が変更になっています。  
詳細は、図書館1階掲示板・館内配布チラシ・図書館ホームページ等をご確認ください。

### 【編集発行】大阪商業大学図書館

大阪商業大学図書館報「ブック村だより」第54号 令和3年10月31日発行

〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10

TEL : 06-6781-5280

E-mail : lib@oucow.daishodai.ac.jp

URL : <https://ouc.daishodai.ac.jp/lib/>

Twitter : @OUC\_Lib

QRコードを読み取ると、  
図書館ホームページへ  
アクセスできます。



ISSN 1346-8928